



# きずな

## 令和8年度定期総会が開催されました。

◆開会行事	・会長挨拶 令和7年度 会長 稲積 賢 ・来賓挨拶 文部科学省 全国連合小学校長会 全日本中学校長会
◆報告事項	【報告Ⅰ】令和7年度 各種活動報告 ①全公教活動報告 ②8ブロック活動報告 ③全公教専門部報告  【報告Ⅱ】令和7年度 全公教 各種会計決算報告 ○全国研究大会茨城大会会計決算報告 ○全公教 各種会計報告 ・一般会計 ・運営活動資金会計 ・その他  【報告Ⅲ】<特別委員会>研究検討委員会 報告 <昼食・休憩> 12:15~13:00
◆協議事項	【議案Ⅰ】令和8年度 全公教活動計画(案) ①活動方針(案) ②専門部活動計画(案) ③年間活動計画(案) ④一般会計予算(案)  【議案Ⅱ】文教施策および予算措置・文教関係立法等の要請文(案)  【議案Ⅲ】第68回全国研究大会札幌大会 開催について ①開催計画 ②大会予算案  【議案Ⅳ】令和8年度 役員・専門部員・会計監査候補者(案)の承認について
◆その他	(1) 令和8年度 新役員・専門部員等 紹介 (2) 令和7年度 役員への感謝状贈呈

令和8年6月4日(金)に東京都 都市センターホテルにて定期総会を開催いたしました。代議員数91名 出席者数：89名 委任状2名(出席者内訳：東京会場参集参加34名 オンライン参加55名)のもと、すべての議題について協議をしていただきました。また来賓として、文部科学省、全国連合小学校長会、全日本中学校長会からお招きし、温かいご挨拶をいただきました。議案は表に載っているものです。すべての内容におきまして、承認されましたことを報告いたします。

## 令和7年度 会長 稲積 賢 あいさつ

本日は大変ご多忙の中、文部科学省初等中等教育局視学官、文部科学大臣をはじめ、全国連合小学校副会長の島峰正様、全日本中学校長会会長の佐藤晴美様...の皆様に多数ご臨席いただき、令和8年度の定期総会が開催できますこと、感謝申し上げます。

また、本日は各都道府県の教頭会の会員の皆様、代議員の皆様にもオンラインも含めて多数ご参加いただいております。教頭会の活動を支えていただいております皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、令和8年度のより一層のご支援をお願い申し上げます。

この後詳しくご説明を申し上げますが、令和7年度の活動を振り返りますと、私どもで開催した全国公立学校教頭会全国研究大会では、オンラインと現地参加を組み合わせたハイブリッド方式により、盛大に開催いたしました。

その他の研修も、多忙な教頭・副校長でも参加しやすいハイブリッド環境を整えることで、会員の皆様の資質向上に寄与することができました。



調査活動では、教頭・副校長会と連携し、教育水準の維持向上に必要な条件整備を求める提言をまとめ、文部科学省へ要望書として提出いたしました。会員の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。この結果が、各学校における教育活動に活用されることを期待しております。

広報活動では、デジタル化を進めることで、会員の皆様に分かりやすい情報の提供に努めてまいりました。ウェブサイトは、教頭・副校長の情報共有、意見交換の場として重要な役割を果たしております。

さて、全国の学校の現状を見ますと、教員のなり手不足や、不登校傾向にある児童生徒の増加など、多くの課題を抱えている地域があります。一方で、子供たちが減少して学校の継続が難しくなっている状況もあります。また、スクールカウンセラーが全国の中学校の6割以上に配置されている恵まれた環境の学校がある一方で、たった1人の教員スタッフの配置さえ難しい、厳しい地域もあります。さらに、不登校の増加、教育DXやGIGAスクール構想の推進、教員の働き方改革など、現代の教育課題も山積しております。

教育は、全国一律で同じ内容を行います。このように地域や学校の現状が様々であるため、そこから浮かび上がる課題も大きく異なっております。私たち教頭・副校長は、校長の指導のもと、それぞれの学校の課題解決に先頭に立って取り組む役割を担っています。どのような学校に直面したとしても、その学校の現状と課題を正しく把握し、より良く解決に導くことが求められています。いわば、個別最適な方法でその学校の課題を解決する、それが求められています。

また同時に、副校長や教頭の横のネットワークを通じて得られた知見を共有し、他校の実践を参考にしながら、包括的にその学校の課題を解決することも求められています。

教頭会には、横のネットワークがあります。教頭会は、そのような教頭・副校長の協働を支える横のつながりの基盤としての役割を、これからも担ってまいります。

最後になりますが、私は、教育は「風呂釜の水を温める」ようなものだと思っております。大きな教育という風呂釜の水を皆様の手で温めてまいりましたが、なかなか温まりきらないこともあります。しかし、一度温まった教育の水は、なかなか冷めにくいものです。先ほどご紹介いたしました、私たち令和7年度の役員が取り組んできたことが、教育という大きな風呂釜の水に例えれば、ほんの小さな薪かもしれません。しかし、教育を温め続けるには、この小さな薪を絶やさずにくべ続けていくことが重要になります。

本日、私たち令和7年度の役員は、この小さな薪を令和8年度の役員の皆様に引き継いでまいります。願わくは、私たちが前先輩方から受け継いできたこの火を、小さな薪ではなく、大きな篝火（かがりび）として育てていただき、さらに引き継いでいただくことを心から願っております。

本日の総会が、教育の未来を照らす希望の灯りとなることを祈念いたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。

それでは、本日の定期総会、どうぞよろしくお願いいたします。

## 新会長 大高珠恵 あいさつ



令和8年度全国公立学校教頭会会長を務めます、埼玉県川口市立元郷小学校の大高珠恵です。会員の皆様のご多大なるご支援とご協力をいただきながら、また関係諸団体との連携を図り、本会のさらなる発展のために、微力ながら知恵を尽くしてまいります。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

さて、全国公立学校教頭会は、全国の公立小・中学校の副校長と教頭、2万7000人を超える会員の皆様により構成されています。全国公立学校教頭会といたしましては、全国の教頭会・副校長会の会員の皆様、事務局の皆様と連携を取りながら、一歩ずつ確実に、どの副校長・教頭先生にも誇りある学校づくりができますよう、本会の活動に邁進していきたいと考えております。

最後になりますが、私は学校というところを、課題を一人で抱え込まない、抱え込ませない、温かい場所でありたいと願っております。役員の皆様方には、本会への取り組みという重責を担っていただくことになり、大変緊張されることもあるかと思いますが、学校同様にお互いに声を掛け合いながら、無理なく楽しく活動していきたいと思っております。令和8年度全国公立学校教頭会会長として、会員の皆様のご理解・ご協力をいただきながら、微力ながら全力を尽くして臨んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

それではここで、新役員の皆様方をご紹介します。48ページにありますように、令和8年度全公教役員等におきましては、会長は埼玉県から、副会長はブロック長を含む12名、会計・庶務・専門部長の7名の、計20名とさせていただきました。新役員の皆様、本来であればお一人ずつご紹介し、ご挨拶をいただくところではありますが、名簿をもって紹介に代えさせていただきますことをお許しください。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

#### ＜ご来賓の皆様方＞



＜文部科学省初等中等教育局  
視学官 菅野和彦 様＞



＜全国連合小学校長会  
副会長 島宗 央 様＞



＜全日本中学校長会  
会長 佐藤晴美 様＞

#### ＜稲積前会長に感謝状贈呈＞



#### ＜新役員の皆様＞



#### ＜参会者の皆様1＞



#### ＜参会者の皆様2＞

